分について、300m以上深い地中に埋める地層処分を検討し、受け入れてくれる自治体を公募してきた。しかし、応募する自治体がないことから、昨年5月に方向転換をし、調査候補地の有望地をこの12月に提示し、国主導で処分地決定のプロセスを開始する。

瑞浪市には超深地層研究所があり、核のゴミの地層処分に関する調査研究が行われてきた。

このことから、東濃地方を中心としたこの地域に最終処分地が選定されるのではと危惧する住民も多い。そこで町長に伺う。核のゴミの最終処分地選定にあたり、当町はもとより近隣市町村、さらには岐阜県内の自治体が選定されることのないように発言・行動していくとこの場ではっきりと宣言してはどうか考えを伺う。

答（金子町長）

「地中に埋める地層処分建設地を自治体から公募する方針」を方向転換し、「科学的有望地を提示した上で、処分地決定のプロセスを開始する」ことについては、昨年6月に岐阜市で開催された「高レベル放射性廃棄物の最終処分場に関する自治体向け連絡会」の中で、「自治体と協議し自治体が反対であれば、建設は進めない」と国側から説明があり、経済産業省の担当者からは「我々の世代で処分しなければならない」とも述べられ、重要な国策でもあるとの認識をしています。

国においても、経済産業省でこの高レベル放射性廃棄物について、平成25年10月より原子力小委員会で「地層処分技術ワーキンググループ」を立ち上げ、平成28年11月28日には19回目の議論を展開しています。その中では、高レベル放射性廃棄物の輸送、運搬面に関して「港湾からの距離が短いこと、迂回しても20km以内の距離で到達できる場所に限定する。」との文言があります。これに想定してみますと、当町は名古屋港から直線距離で60kmありますので、「科学的有望地」マップから外れることとなります。しかしながら、「我々の世代で処分しなければならない」という経済産業省担当者の発言もあることから、国としても最終処分場の選定、建設は推し進めていくことになろうと思います。

この高レベル放射性廃棄物の最終処理は、当町のみなら国全体の大きな問題であります。どこが選定されても選定地及びその周辺市町村では将来に亘り何かしらの影響を受けるのではないかと不安視されることは、過去の様々な情勢から推測できます。当町としましては、今後の国の有望地選定における動向やエネルギー施策の情勢、方向性を注視し、必要に応じて適宜情報提供を行うとともに、議員各位をはじめ町民の皆様からご意見も伺いながら、近隣市町村とも連携調整を図り、しかるべき対応を行っていくべきであると考えています。故に現段階におきまして、議員のご質問につきましては、時期尚早であると考えています。

問 原子力発電についての町長の考えを伺う。

答（金子町長）

原子力発電を使わなくして日本全国の電力がまかなえるのであれば、原子力発電はやめるべきであると思います。しかし現状は難しいので、代替エネルギーができるまでは原子力発電に頼っていかなくてはならないのではないでしょうか。

すべての面で、原発に賛成ではありませんが、もはや致し方なしと言うのが正直な気持ちもあります。原発による経済効果があることも必要ですが、地球上の人類含めて全てが生存していくためには、チェルノブイリ、福島のような原子力発電では意味がありません。さらに、「高レベル放射性廃棄物」が最終処分として「地下に埋められる」ということであれば、地下水、土壌汚染など将来にわたっての心配・不安は払拭できません。私は、八百津町に住んでいる人々を明らかな危険にさらすことには反対です。

山田 勉 議員

Q1 やおつトンネル開通による今後の発展の方策は何か

開通による発展の方策は？

問 11月11日に八百津町議会と御嵩町議会の意見交換会が開催され、両町議会議員から活発な意見が発言され、両町発展のための有意義な会合となった。こうした会議を執行部、議会とも今後実施していくと両町の発展に役立つと感じた。そこで次の点について町の考えを伺う。

①両町が今後発展する方策は

②名鉄広見線の駅駐車場について

答（金子町長）

当町と御嵩町が今後発展する方策はなにかについてでありますが、地域の発展は何をもって発展とするか様々な意見と、その地域や市町村ごとの考えがあると思っています。当町では、将来展望の中でとりわけ人口の減少が大きな課題となっており、人口の減少をどのように克服していくかが、発展の重要な鍵となるととらえています。一方、御嵩町が、今後発展していくための課題としているものが具体的に何であるのかわからないため明確なお答えができませんが、御嵩町とは、これまでも名鉄広見線活性化協議会をはじめ様々な行政間の交流を行っています。やおつトンネル開通により、今後は、観光施策や公共交通などの面を中心に両町が共通する発展の方策を見つけていきたいと考えているようです。

次に名鉄線の駅周辺に八百津町が土地を買うか借りるかして、八百津町民用の駐車場を設置したらどうかについてですが、議員おっしゃるとおり、確かに近くの駅駐車場、特に可児駅に近い顔戸駅に車を停め、電車に乗り換えて出かけるというのは、理想的な方法だと思えます。大庭交差点から、西は1.2km先に顔戸駅、東は900m先に御嵩口駅がありますが、しかし、両駅とも国道から入る道が狭い上に表示看板も出ておらず、大変分かりにくく、決して便利とは言えません。土地についても御嵩口は住宅地帯、顔戸駅周辺も住宅地と優良農地が続き、駅近くで土地を探すことはかなり難し